

道

2021・9・15

通信 No 1652



ツルボ

やはり「緊急事態宣言」が延長されてしまいました。

拡大運営委員会の検討の結果、以下の内容で総会に提案したいと思います。

① 52周年の定期演奏会は中止としたい

② 予定していた12月9日は場所を変更して、内容は「中山先生の感謝会」としたい

具体的には練習再開時の総会で詳細を提案させていただきますが、本日は以下に「趣旨と演奏会概要について」演出担当の石田さんから情報提供をさせていただきます。

残念ながら、昨年に続いて定期演奏会が中止となりました。しかし、延び延びになっている、“中山先生の感謝会”は何とか本年中に実現したいということで、「中山英雄 LAST LESSON ～半世紀の感謝をこめて～」(仮称)を定期演奏会予定日と同じ12月9日(木)午後、会場をテアトルフォンテ(相鉄いずみ中央駅)に移して、関係者のみを招いて実施したいと考えています。

無観客の団内コンサートとはいえ、練習の成果発表の場として、衣装も着けて、可能な限り正式な演奏会に近付け、録画記録も残して52周年の区切りをつけられると良いと思います。

内容としては、52周年プログラムを縮小して、前半は清水先生指揮で、「りんごの花咲く頃」「大きな村が見える(男声)」「おお、カリナーの花が咲く(女声)」「囚人の歌」4曲とします。ステージ20人の制限がありますので一人2曲となります。皆さんの希望を伺いながら分担を考えています。

休憩後、後半は中山先生の指揮で「夕べの鐘」をステージで演奏、スライド上映、対談、退任式典の後、客席にて全員で「鶴」「道」「百万本のバラ」の合唱を予定しています。(正味90分程度)

今後のコロナ感染症の状況により、この計画が

予定通り実施できるかどうか分かりませんが、当面の目標として進めていきたいと思っています。状況によっては内容が変わるかもしれません。

コロナ第五波も収まり始め、11月には行動緩和も取りざたされる中、実施へ向けての大きな鍵のひとつは、練習です。仮に10月から練習が再開できても8回程度しかありません。練習再開後、すぐに仕上げに入る必要があります。曲数が減りましたので、CD等も利用して9月中にぜひ暗譜をお願いします。声の手入れもお願いします。歌うかわりに新聞のコラムを音読するのも良いでしょう。とにかくA～でも声を出しておきましょう。10月には先生が驚くほどの練習ができるといいですね。

より詳しい内容は、臨時総会資料等でお知らせします。
(演出担当 石田 勉)

- ※ 中山先生指揮の曲の練習は小坂先生、二宮先生にお願いしています
- ※ 「マロースカ」他2曲は今回演奏しません
- ※ 演奏曲の分担のため、感謝会への出欠、演奏の希望等のアンケートを行なう予定です
- ※ 演奏中もマスク着用の予定の他、必要なコロナ感染症拡大予防対策をお願いする予定です